

2021年8月16日

北東アジア学会第27回大会実行委員長 若月章

北東アジア学会会員のみなさま

北東アジア学会第27回学術研究大会プログラムのご案内（第二報）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、北東アジア学会第27回学術研究大会を下記の要領および別添のプログラムにて開催することが決定いたしましたので、ご連絡申し上げます。

この間の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大を受け、大会の開催大会を検討してまいりましたが、基本的には対面、補助的にオンラインという形で開催することとしたいと思います。

プログラムをご覧になればおわかりになると思いますが、討論者のうち、数名の方はオンラインであれば参加できるとのことだったので、オンラインでの討論をお願いすることになりました。したがって、各分科会の部屋ではハイブリッドでの大会が開けるような技術的装備を持つこととなります。

これまでの理事会や常任理事会の開催の経験から、完全なハイブリッドでの会議の運営には、機器だけでなくそれを管理するオペレータの技量が欠かせません。大会実行委員会としては、完全なハイブリッドでの会議を3部屋同時並行でつつがなく行うだけの資源（回線容量、機材、管理者）を確保することは難しいと判断いたしました。

他方、COVID-19の拡散に伴い、発表者、討論者および座長のみなさまの中で、体調不良や濃厚接触者への認定、所属先の出張に対する規定などで、急に会場にいらっしゃることができなくなる可能性が、平時よりは高くなっていることも承知しております。

大会実行委員会としては、発表者、討論者および座長については原則として対面で行い、参加者も対面での参加を推奨しますが、オンラインでの大会の視聴が可能になるよう、準備を進めてまいりたいと思います。

シンポジウムと韓国東北亜経済学会との連携分科会はオンラインのみ（会場では各者が各自の端末を利用）としますので、それ以外の分科会では、「完全な品質保証はできないが、オンラインで各分科会を視聴することができる程度」であれば、何とか準備できるかと思っています。

これらについて検討を進めた後、今月末頃には参加申し込みを受け付けられるよう、準備を進めてまいりたいと思いますので、今しばらくお待ちください。

ご参考までに、新潟県ではイベントの開催制限については、5000人以下の大声なし（学会はこちらに該当）の場合、収容率（定員）の100%までできることになっていきますので、分科会の開催には特段の制限がありません（大規模な学会やコンサートも行われています）。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/shingata-corona/boushikyouryoku-onegai.html>

学会活動は不要不急の活動ではないので、一般的な感染予防のための注意点（マスクの

着用、手洗いの励行等)を守っていただければ大きな問題はないものと認識しています。

なお、新潟市は首都圏や関西圏と比較すれば感染状況は比較的穏やかですが、新型コロナウイルス感染症「特別警報」が出されています。飲食店の営業は午後8時または9時までとなっています。今大会では懇親会は行いませんが、直近の感染状況から県外往来+飲み会での感染が広がった例が多いことから、注意を促しています。この点には格別のご留意をお願いいたします。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/shingata-corona/#jokyo>

敬具

記

1. 日時 2021年9月25日(土)、26日(日)
2. 会場 NICOプラザ会議室(新潟県新潟市中央区万代島5-1万代島ビル11F)
<https://www.nico.or.jp/sien/sisetsu/34150/>
理事会はERINA会議室(万代島ビル13F)、シンポジウムはオンライン
3. 予稿集原稿の提出 2021年8月31日(火)までに下記の形式で提出ください。
いただいた原稿をそのまま予稿集に入れますので、形式を遵守ください。
 - 1) サイズはA4版
 - 2) 分量 自由論題報告は2ページ以内、企画分科会は全体で報告者数×2ページ以内、厳守
 - 3) ページレイアウト
余白は天地左右すべて35mm フォントは原則としてMS明朝
1ページの字数・行数は37行×40字、文字のサイズは10.5ポイント
ただし、英文の場合には、37行、10.5ポイントとして、フォントは任意
ページ数は後ほどまとめる際に入れますので、入れないで下さい。
 - 4) ファイル形式はPDFファイルが望ましいですが、作成ができない場合には、Microsoft Word(.doc/.docx)またはリッチテキスト(.rtf)形式でお送りください。
 - 5) 提出期日: 2021年8月31日(火)必着、提出先: conference2021@anears.net
4. 報告論文(フルペーパー)の提出
第18回学術研究大会より、報告者のみなさんには、分科会での議論のいっそうの活発化と、学会誌「北東アジア地域研究」への積極的な投稿を促すことを目的として、フルペーパーの事前提出をお願いしております。
 - 1) 執筆要領
英語、ロシア語以外の言語は、字数は8000字程度で執筆方法は『北東アジア地域研究』執筆要領に準拠します。学会ウェブサイトからダウンロードしてご確認ください(<https://anears.net/jj/shippitsu.pdf>)。
 - 2) 提出期日と提出先(上述の予稿集原稿と同様です)
提出期日: 2021年8月31日(火)必着、提出先: conference2021@anears.net
座長、討論者(コメンテータ)にも、cc:で同報してください。

以上

北東アジア学会第27回学術研究大会プログラム

2021.8.16 現在

9月25日(土)

13:00~16:00 シンポジウム (Zoom を利用したウェビナー)

「コロナ禍における北東アジア各国での研究教育の現状」

16:15~18:15 第8期第3回理事会 (ERINA 会議室とオンラインのハイブリッド) **該当者のみ**

9月26日(日)

分科会 (発表 20 分、討論 10 分、質疑応答 10 分)

第一分科会：北東アジアの政治外交

10:10~12:10 **会場 A**

座長：楡谷圭司 (新潟県立大学)

報告①：大西広 (慶應義塾大学)

「『ウイグル族の強制労働』報道を検証する」

討論：松村史紀 (宇都宮大学)

報告②：縄倉晶雄 (明治大学)

「韓国の政党における派閥抗争と第三政党の台頭」

討論：権寧俊 (新潟県立大学) (Zoom)

報告③：呉迪 (慶應義塾大学・院)

「馮涵清の日本視察と旧満州国の司法制度の整備」

討論：野口真広 (早稲田大学)

第二分科会：東アジアの域内連携

9:30~12:10 **会場 B**

座長：佐渡友哲 (日本大学)

報告①：新井洋史 (環日本海経済研究所)

「北東アジアにおける経済関係深化に関する評価」

討論：松野周治 (立命館大学)

報告②：日臺健雄 (和光大学)

「『一帯一路』に直面するロシアの鉄道：歴史と現状」

討論：辻久子 (環日本海経済研究所)

報告③：中山賢司 (創価大学)

「北東アジアにおける争点志向型越境地域協力(CBC)の地平——対馬釜山境域・日韓海峡広域圏・八重山台湾東部境域・沖縄台湾広域圏にみる海岸漂着物対策 CBC の比較考察」

討論：高橋和 (山形大学) (Zoom)

報告④：横田将志 (八戸学院大学)

「瀾滄メコン協力 (LMC) の水資源ガバナンスに関する一考察——原理と規範」

討論：龍世祥 (富山大学) (Zoom)

第三分科会：中国の経済と社会

13：00～15：00 会場 A

座長：高屋和子（立命館大学）

報告①：松野周治（立命館大学）

「『第14次5ヶ年計画と2035年ビジョン』から見る中国の課題—『中華民族の偉大な復興』と『双循環』を中心に—」

討論：穆堯芋（新潟県立大学）

報告②：朱永浩（福島大学）・劉旭彬（福島大学・院）

「中国山東半島における港湾統合の進展と課題」

討論：小川雄平（九州情報大学）

報告③：李赫然（立教大学・院）

「中国における『職域型保険』と『地域型保険』の形成に関する考察—中国の公的医療保険を例に一」

討論：李蓮花（東京経済大学）（Zoom）

第四分科会：北東アジアとコロナウイルス

15：15～17：15 会場 A

座長：高田喜博（北海道国際交流協力総合センター）

報告①：齊藤久美子（和歌山大学）

「COVID-19のロシア企業への影響—会計学の視点から—」

討論：堀江典生（富山大学）

報告②：張文婷（新潟大学）

「『新型コロナウイルス禍の影響による新潟・富山地域の中小企業の企業経営と経営課題』アンケート調査結果報告書」

討論：岡本勝規（富山高等専門学校）

報告③：金早雪（大阪商業大学）

「コロナ禍の韓国の生活リスク・保障と福祉政治」

討論：生駒智一（立命館大学）

第一企画分科会（韓国東北亜経済学会関連）

13：00～17：15 オンライン（ただし会場 B で各自の端末で参加可）

座長：川口智彦（日本大学）

報告①：鄭美香（長崎大学・院）

「韓国外交文書から見る韓国人被爆者問題（仮）」

討論：川口智彦（日本大学）

※その他の報告については、韓国東北亜経済学会と協議して決定する。

第二企画分科会（東アジアにおける〈周縁〉からの間主観性に基づく秩序）

13：00～15：00 会場 C

座長：森川裕二（長崎大学）

発表①：森川裕二（長崎大学）

趣旨説明「〈周縁〉からの間主観性の視点」

発表②：野口真広（早稲田大学）

「〈周縁〉からの東アジアへの眼差し—柳宗悦を中心に」

発表③：伍嘉誠（北海道大学）

「対中意識の間主観性—社会運動にみる香港と台湾の連帯」

発表④：タンシンマンコン・パタジット（早稲田大学）

「小国のタイから見る大国中国」

討論：堀内賢志（静岡県立大学）

第三企画分科会（大国の地域経済—グローバル化における中規模都市の成長—）

15：15～17：15 会場 C

座長：新井洋史（環日本海経済研究所）

発表①：穆堯芋（新潟県立大学）

趣旨説明「大国の地域経済—グローバル化における中規模都市の成長—」

発表②：徐一睿（専修大学）

「地域一体化を目指す中国—長江デルタとの連携を進める安徽省」

発表③：志田仁完（環日本海経済研究所）

「ロシアの空間的再編成と地域経済の成長—クラスノダール地方の中規模地域に注目して」

発表④：久保隆行（立命館アジア太平洋大学）

「東京—極集中への対応を迫られる日本—活力あるアジアの拠点都市に変貌する福岡」

全体討論：岡本信広（大東文化大学）

以上